

杉本 美怜 さん

健康・スポーツ教育課程 スポーツ科学コース

高知県（中学校保健体育教諭）内定

高知県立高知西高等学校出身

（現：高知県立高知国際高等学校）



■ 学校種を目指したきっかけ

私が教員を目指すきっかけになったのは、

中学 2 年生の時の担任の先生です。生活面や将来のことで悩んでいた私に、先生は「自分の人生ながやき、自分がやらないかんと思うことをせないかんよ」と声をかけてくださいました。その言葉や行動に救われ、私も「こんな先生になりたい」と思うようになり、夢へとつながりました。

■ 大学での学び・教育実習での経験

教育実習では、大学で行った模擬授業のように全くいかず、生徒の実態に応じた授業づくりに毎時間苦労しました。模擬授業では生徒役が大学生のため、全員が主体的に参加してくれましたが、実際の中学生は話を聞かなかったり、授業に消極的だったりする生徒も多くいました。そのため、指導案通りに進めるだけではうまくいかず、その場の状況に合わせた臨機応変な対応が必要だと痛感しました。

そこで私は、「どうすれば生徒が興味をもち、楽しみながら学べるか」を常に意識しました。まずはやらせてみることにし、うまくできていない場合は一度全体を止めて考えさせること、説明は短く簡潔にすることなどを心がけました。

運動量をしっかり確保しながらも、生徒が気づきや学びを得られるよう導くためには、教師の声かけや関わり方が本当に大切であると実感した実習でした。

■ 採用試験でのアピールポイント

私は、学業とアルバイトの両立をアピールしました。中学保体と小学校の免許取得を目指しながら、多くの授業や課題に取り組み、さらに学費や生活費を自分でまかなうために週 5 日以上アルバイトに励みました。アルバイト先ではリーダーを任され、責任感をもって、誰もが気持ちよく働ける職場づくりを意識して取り組みました。

限られた時間の中での学業とアルバイトは大変でしたが、「教員になる」という目標を常に持ち続けたことで、最後までやり抜くことができました。

■ 教職センターでのサポート

教採についてさまざまな情報をいただき、悩みや疑問にも丁寧に向き合ってください、解決のヒントを提案していただきました。

3年生のときに「3年次受験」の話を聞いていなければ、私は挑戦していなかったと思います。あのときの3年次受験の後押しが、今につながっています。

■ 目指す教員像

私は、恩師のように生徒一人ひとりに寄り添い、生徒自身が自分の道を見つけ、歩んでいけるよう支えられる教師を目指しています。生徒にとって「一番の味方」となり、成長を温かく見守り、支えていきたいと考えています。

■ 後輩へのメッセージ

教採の高い倍率を目にすると、「本当に受かるのだろうか」「先生になってからうまくやっていけるだろうか」と、不安になることも多いと思います。実際、私もそうでした。でも、未来のことを心配しすぎて、前には進めません。そんなに考え込まなくても大丈夫です。

今できることを精一杯やれば、結果がどうであっても、その頑張りは必ず自分の力になります。そして本当に、「人生、生きていたらなんとかなるもの」です。振り返ってみたら、今までだってなんとかなってきましたよね？（笑）

しんどいときは、友達に話を聞いてもらったり、遊んで気分転換をしたりして、しっかりリフレッシュしてください。そのうえで、頑張るときはしっかり頑張る。そのメリハリがとても大切です。そして、先生方や教職センターは本当に頼りになります。不安なことがあれば、遠慮せずに相談してみてください。ひとりで抱え込む必要はありません。周りに支えてもらいながら、今は「自分が頑張る番」だと思って挑戦してほしいです。

そして将来、今度はあなた自身が生徒を支えられるように頑張ってください。応援しています。

